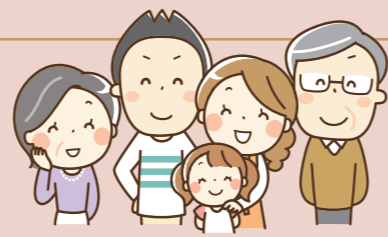


住民福祉座談会開催地区募集！



“誰もが住み慣れたまちで、
安心して暮らすことができるまち”

住民福祉座談会とは？

1. 地域の集会所・公民館に皆さんが集まって、地域生活のなかでの困りごと、近所の方から聞いた困りごとなどを出し合います。
2. 出された困りごとを内容ごとに仕分けをして地域の課題をみなさんと共有します。
3. その地域の課題について、私たち住民で解決できそうな内容について、どうしたらいいかを皆さんで話し合います



その後、皆さんで決めた解決内容に沿って地域での取り組みを開始します。定期的に集まり進捗状況を確認したり、研修会を開催したりします。また、新たな課題についても検討していきます。

なぜ住民福祉座談会が必要な？

人口減少・少子高齢・核家族・被介護・生活保護・社会的孤立などの多様な社会問題・福祉課題が顕在化・潜在化しています。またコロナウイルス感染拡大の影響によりこれらの問題に一層拍車がかかってきています。これらの地域生活課題の解決は行政の制度だけでは困難であり、住民参加を前提として、困りごとを抱える人々を支えるため、「今までの地域の仕組み」を基盤として改善し、「新しい地域の仕組み」をも生み出すことが求められています。

そこで、近年では地域包括ケアシステム*1の構築、生活困窮者自立支援制度*2における地域づくり、我が事・丸ごとの「地域共生社会」*3の実現を目標に、各種施策が展開されています。特に「地域共生社会」の実現においては、住民のみなさんが主体的に地域課題を把握して、解決を試みる体制の構築が期待されています。この住民主体の地域課題解決体制は、住民みなさんの一人ひとりが、地域福祉を推進する主体及び地域社会の構成員であるという当事者意識を持ち、自身の身近な地域にある多種多様な福祉課題やニーズに気づき、他人事を我が事として捉え、地域課題の解決に向けて、それぞれの経験や特性等を踏まえて役割を分かち合う体制です。

*1 高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送れるよう、医療介護の専門職や地域が一体となって支援すること

*2 経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのあるかたへ包括的な支援を行う事業

*3 制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

公式 SNS フォローで最新情報をチェック

Instagram

FUKUCHISYAKYO

地域でのイベントのお知らせ、活動を紹介しています！

LINE

LINE

広報誌「きずな」のお知らせや講座情報、金田社会福祉センター、ふく〜るバス情報等を発信しています！

地域情報誌

まちあるき

Vol.7
2026.03 月

編集・発行
社会福祉法人 福智町社会福祉協議会
〒822-1201 田川郡福智町金田 1154-2
TEL 0947-22-6631 FAX 0947-22-6678
HP <http://wel-fukuchi.net/>

そだてよう福祉の心
ひろめよう福祉の輪

密着特集 地域で頑張る人たちを紹介！

- みんなで守る福智町の中元寺川
子どもボランティア河川清掃・・・P2
- 年の瀬の多世代交流の場
上野3区・生力NT餅つき・・・P2

- 食を通じた多世代交流の場づくり
地域ふれあい食堂・・・P3
- 高齢者の生きがい、交流の場づくり
野添老人クラブ運動会・・・P3

みんなで守る福智町の中元寺川

子どもボランティア河川清掃 2025.6.22

世代をこえた協力で川がピカピカに

2025年6月22日(日)、福智町を流れる中元寺川で河川清掃のボランティア活動が行われました。この活動には、小学生をはじめ、少年野球チームの子どもたち、大学生、地域住民など多くの人が参加しました。参加者はトンゴやゴミ袋を手に、川岸や遊歩道周辺に落ちている空き缶やペットボトル、ビニール袋などを拾い集めました。世代をこえて声をかけ合いながら協力する姿が見られ、川は見違えるほどきれいになりました。参加した小学生からは「みんなでやると楽しかった」「町をきれいにできてうれしい」との声が聞かれ、地域で環境を守る大切さを改めて感じる一日となりました。



2時間で
ゴミ袋合計13袋
拾いました!

年の瀬の多世代交流の場

上野3区・生力NT餅つき 2025.12.21

健康と長寿を願い皆で餅をつきました

12月21日(日)に上野3区集会所、生力NT集会所にて餅つきを開催。両地区ともに公民館活動に力をいれており、普段から世代間交流を活発におこなっています。

今年の餅つきは天候にも恵まれ、子どもから大人まで約30名以上の人が集まり、大きな杵を両手で一生懸命持つ子どもたちの姿に、周囲から温かい声援が送られていました。慣れた手つきで餅を返したり、丸めたり、調理したり…地域の皆さんの協力もあり、作業は終始和やかに進行。つきたてのお餅を頼張りながら、世代を超えた交流を楽しむ姿が見られ、地域のつながりを改めて感じる一日となりました。餅つきを通して、地域の伝統を次の世代へつなぐ大切な時間となったのではないかと思います。



「よいしょ!」という
元気な掛け声が会場いっぱいに響き、
白のまわりには自然と人だかりが
できていました。

☆老人会メンバーにつきたてのお餅をお届け☆
健康と長寿の思いを込めた紅白餅を地域の高齢者宅に配布しました。地域のつながりを改めて感じられる行事となりました。

食を通じた多世代交流の場づくり

地域ふれあい食堂 2025.12.25

広がる様々な交流

毎年、学校の長期休暇に合わせて開催している地域ふれあい食堂。今回で13回目の開催となりました。参加者も回を重ねるたびに多くなり、現在は平均45名を超える方々に参加いただいています。

加えて、ボランティアの方々の参加も増えており、今回は地元プロスポーツチームの方々や将来、養護教諭を目指している大学生、かいた子育てサポート・ジャムの方々、大学教授等も一緒に交流を深めました。

食堂開催のお知らせや過去の活動の様子などは福智町社会福祉協議会公式Instagramで見ることができます。



クリスマスプレゼント争奪
ビンゴ大会を実施!



◎次回の開催について

3月下旬(春休み)に開催予定です。地域食堂や子ども食堂に興味、関心がある方はお気軽に社協までお問い合わせください。

TEL:0947-22-3778

高齢者の生きがい、交流の場づくり

野添老人クラブ運動会 2025.10.24

健康で長生きするために

令和7年10月24日、野添老人クラブの一大イベント「運動会(第13回)」が実施されました。25名の参加により全6種目(年齢や立場を問わず誰もが参加できる種目を考案)の競技が行われました。福智町運動普及推進員が運営に協力し、昨年までは町内の保育園がゲスト参加するなど、地域全体が一体となった取り組みとなっています。

町内52か所で実施されている「ふれあい交流」の中でも、最大規模を誇るのが野添地区(方城17区)です。毎月開催されているサロンでは、健康体操を中心に実施しており、季節に応じた内容を取り入れるなど、参加者が楽しめる工夫がなされています。

参加者の多くは毎月のサロンを楽しみにしており、継続的に参加されていますが、近年は高齢化の影響により、参加者数が減少傾向にあります。そのため世話役の方々は、誰もが楽しく参加できる企画を実施しようと、現在は休止中ではあるものの廃品回収による活動資金の確保や、ニーズ調査を行うなど、さまざまな工夫と努力を重ねています。



天候にも恵まれ、
絶好の運動会日和でした!